

平成 31 年度(令和元年度) 社会福祉法人 富門華会 事業報告書

I. 法人の現況

1. 令和元年度の活動状況総括

(1) 事業経過及びその成果

平成 30 年 9 月に発生した北海道胆振東部地震の教訓を基に災害時の対策に関して、様々な取組みを行なってきた。一つとして、各事業所での防災・減災計画の見直しや訓練の実施等を基本に法人運営会議での全事業所の情報の共有化、意志の統一化などを図り、非常災害時の協力・連携などの重要性の確認を行ない、法人本部にては、小型発電機やポータブル石油ストーブ等の備品の購入、いつ襲ってくるかもしれない地震等の自然災害の対策を常に忘れずに、という思いで各事業所と法人で取組んできた。今後において、より一層の対策強化を図って行かねばならないことを確認し合い、今後の継続課題とした。

また、年度終盤の 2 月頃より誰も想像すら出来なかった新型コロナウイルス感染症の蔓延状況が世界的に、また、日本全国・全道においても感染拡大し、終息が見えない中で各事業所や法人でその対応に取組みを開始した。感染症が重症化し、死亡に至るケースも続出し、その恐ろしさを誰もが知るところとなり、また、病院や福祉施設での集団感染も全国・全道で起こる事態となっており、緊張と不安の中で各事業所は、日々の対応を行なっているところである。

障がい者支援施設富門華寮・第二富門華寮の施設整備事業計画は、施設整備計画ワーキンググループ検討会における話し合いを重ね、2 月からは安平町職員にも出席をいただくなど協力を仰ぎ、さらには、法人理事会での報告や検討を行ない、建物図面がほぼ決定する段階にさしかかり、設計業者に委託し、基本設計にとりかかったところである。

障がい者事業所富門華寮並びに第二富門華寮においては、年間を通じそれぞれの入所定員 50 名と 60 名に対し、新規受入れを行なうためには、実際にはスペースの余裕がなかったり、男女いずれかの限定しかできなかったり、居室の余裕に関わる問題や、職員の人的余裕がないなどの理由で数名～5 名程度の定員の空き状態を続けており、その分収入は減額となったが、結果的には剰余金が見込まれ、両施設共に積立てを行なうなど資産を増やすことが出来た。

しかし、高齢者事業所特に僅か 9 名定員の単独事業所である安平町指定管理施設「安平町認知症高齢者グループホームさかえ」が度々、入居者の入院や退去があつて利用者現員数が定員に満たない状況を繰り返すこととなり、そのため運営資金を自己資金で賄うことが出来なくなったりし、法人本部から運転資金の借入を行なうなどして運営を何とか凌いできた。

地域公益活動に関しては、実施要綱に基づき取組みを行なってきた。地域在住の障がい者の方の生活支援、施設退所後に入院或いは、他の施設を利用し生活を続けている方への訪問や生活の一部支援などを継続してきた。

又、オレンジカフェ(認知症カフェ)の開催は、毎月実施し、2 月まで回数を重ね行なってきたが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため 3 月から当面の間中止となっている。

安平町の委託事業である「在宅介護支援センター」の業務は、町民の方々に対する高齢者実

態調査を中心に施設長が中心となって取組み、調査予定件数の66%の達成率となった。

2. 重点方針の取組み

(1) 防災・減災対策

実施項目	実施状況等
防災・減災対策	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所での対策検討並びに計画策定 富門華寮…災害(消防含む)対策 震災・水害対策の強化 第二富門華寮…非常災害避難手順(火災含む)対策 震災・水害対策強化 高齢者事業所…防火・防災管理規程(震災・水害対策の強化)、災害時食事提供マニュアル 土砂災害避難手順等 法人運営会議での情報共有及び検討、事業所間協力の強化 非常災害時の連絡体制の強化
防災・減災対策備品等の検討と備え付け	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所での必要備品等の検討と一覧表の作成・購入等 法人運営会議での法人備品の検討並びに購入(発電機、水中ポンプ、石油ストーブ) ・その他備品の検討と導入

(2) 障がい者支援施設富門華寮・第二富門華寮の施設整備事業計画

実施項目	実施状況等
会議、検討会	<ul style="list-style-type: none"> 法人理事会での報告・審議 4回 施設整備事業計画ワーキンググループ検討会、富門華寮・第二富門華寮での検討会 法人運営会議における検討
施設見学	<ul style="list-style-type: none"> 釧路おんべつ学園見学(釧路市) 5/20 社会福祉法人 伊達コスモス見学(伊達市) 7/4 11/21 道社会福祉事業団日中サービス支援型グループホーム見学(伊達市) 10/3 追分あけぼの会 羊ヶ丘陽光苑見学(札幌市) 2/21
胆振道振興局関係 安平町関係	<ul style="list-style-type: none"> 胆振総合振興局社会福祉課地域福祉係訪問 6/11 (災害復旧国庫補助手続支援のお礼と施設整備手続きの協力依頼挨拶) 安平町健康福祉課課長へ挨拶 6/12 ・WG検討会への町職員派遣協力依頼 1/8
手続関係	<ul style="list-style-type: none"> 福祉医療機構融資相談会出席(2/21) 設計会社との打合せ、書類作成依頼、電話・メールやり取り等 町内の法人からの支援協力

(3) 各事業所の経営・財政基盤の強化と安定

実施項目	実施状況等
障がい者事業所 富門華寮・第二富門華寮	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの重い利用者の支援継続、受入れ方針 ・利用希望者・待機者、相談事業所、養護学校との連携
高齢者事業所 ケアハウス・デイサービス サックル 認知症グループホームさかえ	<ul style="list-style-type: none"> ・各居宅事業所、役場健康福祉課、地域包括支援センター、医療機関、町内外の他事業所との連携・連絡

(4) 地域公益活動の実施継続と充実化

実施項目	実施状況等
地域在住の障がい者 2 名の方々の生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・OH氏(安平町内の牧場住込み) 預金管理、健康管理(通院・健診付添い)、余暇支援、生活相談、施設行事参加、住込先との連絡調整等 計 28 回 ・HK氏(安平町内のアパート) 身の回りの生活支援、各種手続き代行、外出・買い物支援、預金管理、支払、安否確認、生活相談等 計 91 回
施設退所した障がい者 3 名(病院入院中)の方々の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・富門華寮退所者 HT氏(千歳市) 面会訪問、家族への連絡等 ・富門華寮・ケアハウスサックル退所 NK氏(苫小牧市) 面会・支払、各種手続き、死去による葬儀手配、各種手続き等 ・第二富門華寮退所者 SH氏への面会訪問等
オレンジカフェ(認知症カフェ)の開催 安平町民の方対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ学習会、セラピューティックケア、カフェ、ゲーム、折り紙コーナー等 毎月 1 回開催 (4/17 5/15 6/19 7/17 8/21 9/18 10/16 11/20 12/18 1/15 2/19 計 11 回実施)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治会活動への協力 行事参加、役員としての協力、会場・備品貸出等 ・第 3 自治会例会でのミニデイサービス実施、追分カーネーション演芸会 ・介護等体験実習学生受入れ(3 件)、特設人権困りごと相談会 ・早来小 4 年生郷土学習成果紙芝居発表会、ウトナイ保育園交流会、早来認定こども園への支援(薪作り協力) ・障がい者・高齢者施設の見学者受入れ等 ・七飯町災害復興支援レクリエーション協会慰問、災害復興支援事業 RUN 伴 2019 参加協力(8/31 実施) ・安平町地域見守りネットワーク参加協力、町地域ケア会議 2 回 ・安平町徘徊高齢者 SOS ネットワーク協力機関協定締結 ・安平町、安平町社会福祉協議会、他法人への協力(役員、評議員等) ・安平町復興ボランティアセンターへの協力…役員、イベント

(5) 安平町在宅介護支援センター委託事業

実施項目	実施状況等
安平町在住高齢者実態調査 委託契約書・委託業務処理要領による	<p>訪問調査 105/159 件の調査実施(実施率 66%)</p> <p>※未実施分は、調査拒否・不在、要介護認定移行、転出その他の理由による</p>

緊急呼び出しコール対応	早朝対応 1件(町内遠浅地区)
町地域包括支援センターからの連絡	町内の徘徊の可能性のある高齢者情報連絡と職員への協力依頼

(6) 法人給与制度改定

実施項目	実施状況等
コンサルタント会社との検討会	第1回(10/23)～第8回(3/19) 計8回 法人側出席者 各事業所施設長、事務長等
法人内部検討会	12/20 12/24 1/24 2/5 計4回 出席 各事業所施設長、事務長
法人運営会議での検討会	8/26 9/23 10/28 12/2 12/30 1/27 2/24 計7回

目的) 法人給与規程の見直し並びに処遇改善加算の上位加算の取得、更には特定処遇改善加算の取得を行なう為に、専門のコンサルタント会社(札幌市 吉岡経営センター)へ後半の6ヶ月の間の業務を行ない、改定作業を実施する。

実施結果

- ①給料表及び給与規程の一部改定の実施
- ②キャリアパス等級フレームの新設
- ③上位処遇改善加算及び特定処遇改善加算の申請

各事業所の状況が異なるために法人の障がい・高齢者事業所一律での申請はできることには至らなかった。富門華寮及び第二富門華寮においては、処遇改善加算Ⅰ(従前はⅢ)の取得申請を次年度に向けて行なうこととなったが、高齢者事業所では現行の加算Ⅲのままで申請を行なうこととなった。特定処遇改善加算は、富門華寮のみ申請を行なうこととなった。

3. 事業収支及び財産の状況(一般会計)

①収支の推移

単位：千円

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	H30・令元年度比較増減
サービス活動収益	702,277	705,523	693,906	△ 11,617
サービス活動費用	685,285	687,314	689,015	1,701
サービス活動外収益	9,023	12,601	9,908	△ 2,693
サービス活動他費用	3,067	2,280	2,659	379
経常増減差額	22,948	28,530	12,140	△ 16,390
特別収益	0	0	0	0
特別費用	0	0	0	0
特別増減差額	0	0	0	0
当期活動増減差額	22,948	28,530	12,140	△ 16,390

②資産・負債の推移

単位：千円

	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	H30・令元年度比較増減
流動資産	329,572	325,546	310,734	△ 14,812
固定資産	1,018,703	1,029,258	1,040,481	11,223

資 産 合 計	1,348,275	1,354,804	1,351,215	△ 3,589
流 動 負 債	64,214	54,231	46,660	△ 7,571
固 定 負 債	91,668	93,409	99,009	5,600
負 債 合 計	155,882	147,640	145,669	△ 1,971
純 財 産	1,192,393	1,207,164	1,205,546	△ 1,618

4. 今後対処すべき課題

- ①新型コロナウイルス感染症対策、地震・火災・洪水等の防災・減災対策、リスク管理対策の強化
- ②障がい者支援施設富門華寮、第二富門華寮の施設整備事業計画の実現
- ③利用者の人権擁護と虐待防止対策並びに利用者の生活の質の向上
- ④職員の倫理意識及び資質の向上、優秀な人材確保及び離職の防止
- ⑤法令・基準に基づいた適正な法人及び事業所運営並びに法人本部機能の強化
- ⑥地域公益活動の実施と強化
- ⑦各事業所の経営・財政基盤の強化と柔軟な経営
- ⑧障がい者施設利用者の高齢化・重度化への対策
- ⑨高齢者事業所利用者の加齢及び介護度の高まりに対する対策

II. 法人の概要及び実施する事業

1. 主たる事務所の所在地

〒059-1434 北海道勇払郡安平町早来富岡 129 番地 1

2. 事業の種別

(1) 第1種社会福祉事業

(ア) 障害者支援施設の経営

(イ) 軽費老人ホームの経営

(2) 第2種社会福祉事業

(ア) 障害福祉サービス事業の経営

(イ) 老人デイサービス事業サックルの受託経営

(ウ) 認知症対応型老人共同生活援助事業（安平町認知症高齢者グループホームさかえ）の受託経営

3. 事業の種類及び名称等

名 称	施 設 長	所 在 地	定員(人)
富門華寮（障害者支援施設）	戸 田 好 枝	安平町早来富岡	生活介護 50 入所支援 50
第二富門華寮（障害者支援施設）	五十嵐 勸	〃	生活介護 69 入所支援 60
あけぼのグループホーム（共同生活援助事業）	戸 田 好 枝	安平町早来大町	4
富岡ホーム（共同生活援助事業）	〃	安平町早来富岡	4
ケアハウスサックル	清 水 浩 明	安平町早来栄町	30

安平町デイサービスセンターサクル	〃	〃	一般型 20 認知症対応型 10
安平町認知症高齢者グループホームさかえ	〃 管理者 中田 良彦	〃	9

4. 施設サービス利用者の推移

単位：人

名 称	平成 29 年度末	平成 30 年度末	令和元年度末	H30・令元年度比較増減
富 門 華 寮	46	46	48	2
第 二 富 門 華 寮	55	56	55	△ 1
〃 (通所者)	7	7	7	0
あけぼのグループホーム	3	3	3	0
富 岡 ホ ー ム	4	4	4	0
ケアハウスサクル	30	28	29	1
デイサービスサクル	1 日平均 16.7	1 日平均 16.2	1 日平均 15.5	△ 0.7
グループホームさかえ	8	9	9	0

5. 施設職員数の推移

単位：人

名 称		平成 29 年度末	平成 30 年度末	令和元年度末	H30・令元年度比較増減
富 門 華 寮	正	19	18	20	2
	臨	13	15	15	0
	計	32	33	35	2
第 二 富 門 華 寮	正	27	27	24	△ 3
	臨	19	17	17	0
	計	46	44	41	△ 3
ケ ア ハ ウ ス サ ク ル	正	3	3	3	0
	臨	13	15	15	0
	計	16	18	18	0
デ イ サ ー ビ ス サ ク ル	正	4	3	3	0
	臨	12	11	13	2
	計	16	14	16	2
グ ル ー プ ホ ー ム さ か え	正	1	1	1	0
	臨	7	8	8	0
	計	8	9	9	0

※デイサービスは、一般型・認知症対応型及びサクル介護保険相談所を含む

各年度末日現在

正：正職員 臨：非常勤・パートを含む

6. 借入金

なし

7. 補助金関係

軽費老人ホーム運営費補助金（ケアハウスサックル） 年額 14,697,380 円

8. 監査等

(1) 法人監事による監査実施日、内容等

- 令和 1. 5. 24 平成 30 年度事業報告書・計算書類、理事長の業務執行状況、会計事務所による巡回監査結果、利用者預かり金・小遣い帳処理関係
- 令和 1. 9. 25 理事長の業務執行状況、役員・資産変更登記、情報公開、道による実地調査
会計事務所による巡回監査結果、施設整備計画進捗状況、利用者預かり金・小遣い帳処理関係
- 令和 1. 11. 29 理事長の業務執行状況、道による法人指導監査結果、苦情処理、災害対策
給与制度改定、3・6 協定、利用者預かり金、会計事務所による巡回監査結果
各拠点区分月末預金残高照合、各拠点区分仕訳伝票
- 令和 2. 3. 4 理事長の業務執行状況、新型コロナウイルス感染症対策、試算表、給与制度改定
作業進捗状況、利用者預かり金・小遣い帳処理関係、会計事務所巡回監査結果

(2) 税理士法人さくら総合会計による巡回監査実施日、内容

- 令和 1. 5. 15 平成 30 年度 1～3 月会計処理、平成 30 年度決算、社会福祉充実残額
- 令和 1. 5. 29 「財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書」受領
- 令和 1. 7. 22 4～6 月 各拠点区分会計処理(各収支科目他)
- 令和 1. 11. 13 7～9 月 各拠点区分会計処理(各収支科目他)、定款変更
- 令和 2. 2. 17 10～12 月 各拠点区分会計処理(各収支科目他)、決算整理に向けての主な作業

(3) 胆振総合振興局保健環境部社会福祉課事業指導、安平町、その他

- 平成 31. 4. 6 介護保険施設等現況報告書(サックル介護保険相談所)
- 平成 31. 4. 9 障害福祉サービス事業者等現況報告書(第二富門華寮)
- 平成 31. 4. 10 障害福祉サービス事業者等現況報告書(富門華寮、あけぼのグループホーム、富岡ホーム)
- 平成 31. 4. 19 介護保険施設等現況報告書(ケアハウスサックル、デイサービスサックル)
- 令和 1. 6. 26 社会福祉法人現況報告書及び財務諸表等電子開示
- 令和 1. 9. 4 胆振総合振興局による実地指導(富門華寮及び第二富門華寮)
- 令和 1. 10. 14 介護サービス情報公表更新(ケア・デイサービスサックル、グループホームさかえ)
- 令和 1. 10. 24 胆振総合振興局による指定障害福祉サービス事業者等指導監査(集団指導)
- 〃 胆振総合振興局による介護保険施設等指導監査(集団指導)
- 令和 1. 10. 29 胆振総合振興局による社会福祉法人に係る指導監査(法人運営、会計経理)
- 令和 2. 1. 28 グループホームさかえ外部評価 (NPO福祉評価機構ネット)
- 令和 2. 2. 4 障害福祉サービス情報公表更新

9. 登記事項

- ・社会福祉法人変更登記（令和1年6月24日）平成31年3月31日 資産総額の変更
- ・社会福祉法人変更登記（令和1年6月24日）令和元年6月20日 理事長の重任

10. 理事会開催状況（理事定数6名以上8名以内 監事定数2名）

	月/日	出席数	監事	審議・報告事項
第1回	6/4	6/6	2/2	平成30年度事業・会計決算報告案・監査報告、定時評議員会開催案、理事・監事候補者選考、評議員候補者2名推薦、評議員選任解任委員会開催案、報告(理事長の職務執行状況・専決事項、利用者・職員状況、監事監査結果、施設整備事業計画進捗状況)
第2回	6/20	8/8	1/2	理事長の選定
第3回	9/25	6/8	2/2	報告(理事長職務執行状況・専決事項、利用者職員の状況、道による障がい事業所実地指導監査結果と改善状況、監事監査と会計事務所巡回監査、施設整備計画進捗状況、町委託事業 在宅介護支援センター・認知症カフェ実施状況他
第4回	1/29	8/8	2/2	補正予算案(本部) 報告(施設整備事業計画、理事長の職務執行状況・専決事項、道による法人指導監査報告、
第5回	3/27	8/8	1/2	各拠点区分補正予算案、給与規程の一部改定案、令和2年度事業計画・各拠点区分予算案、統括施設長・施設長の選任、報告(利用者・職員の状況、監事監査結果)

11. 評議員会開催状況（定数7名以上9名以内）

	月日	出席数	監事	審議・報告事項
第1回	6/20	9/9	1/2	平成30年度事業・会計決算報告案・監査報告、理事・監事の選任、報告(理事長の職務執行状況・専決事項、利用者・職員状況、監事監査結果、施設整備事業計画進捗状況)

12. 法人運営会議（理事長、施設長、事務長出席）

- ・計12回開催(4/29 5/27 6/24 7/29 8/26 9/23 10/28 12/2 12/30 1/27 2/24 3/19)
- ・その他打合せ等（毎週月曜日並びに随時）

13. 研修会参加等

(1) 外部研修参加

- ・令和 1.10.11 特別講演会「人生100年時代とごちゃまぜ社会」(室蘭市) 多田、米澤、戸田、五十嵐、横山
- ・令和 1.11.19 地域ネットワーク会議(安平町社会福祉協議会主催) 多田、清水、戸田、米澤
- ・令和 2. 2.17 社会福祉法人経営・実務セミナー(札幌市) 米澤
- ・令和 2. 2.18 障がい者グループホーム勉強会(苫小牧市) 多田、米澤、横山、廣川、諏訪
- ・令和 2. 2.21 福祉貸付事業個別融資相談会(札幌市) 多田、米澤

(2) 法人内部研修会

- ・新任職員研修(含ガイダンス) 法人概要、定款、規則、規程他
- ・富門華会職員等内部研修会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、次年度に延期

(実施予定内容：講演「社会福祉事業所における虐待防止と人権擁護の視点～職業人・福祉専門員として障がい者、高齢者を支える仕事の重要性～」 講師：悪七尚広氏(北海道介護福祉学校副校長) 令和2年2月27日 18:30～ 会場：第二富門華寮通所部訓練棟)

14. 役員 の 状 況 (令和2年3月31日現在)

任期：令和元.6.20～令和3年度定時評議員会終結時

役 職	氏 名	住 所	備 考
理事長	多 田 政 拓	安平町早来	
理 事	米 澤 洋 一	千歳市	統括施設長
〃	清 水 浩 明	長沼町	ケア・デイサックル さかえ施設長
〃	五 十 嵐 勸	安平町早来	第二富門華寮施設長
〃	平 田 秀 雄	新ひだか町	
〃	黒 坂 昭	安平町早来	
〃	豊 島 滋	安平町追分	
〃	反 保 公 志	札幌市	
監 事	鱈 和 英	安平町早来	
〃	中 西 猛 雄	札幌市	

15. 評議員 の 状 況 (令和2年3月31日現在)

任期：平成29.4.1～令和3年度定時評議員会終結時

氏 名	住 所	備 考
畑 山 由 起 子	安平町早来	
櫻 井 唯 紹	〃	
椎 葉 浄 子	〃	
實 吉 智 子	〃	
四 宮 憲 治	千歳市	
佐 藤 民 江	厚真町	
富 澤 治 英	安平町遠浅	
横 澤 健 二	安平町早来	任期：令和5年度定時評議員会終結時迄
小 山 優 子	安平町早来	〃

以 上